

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2014.3.20 No.148

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

第一回定例会最終日 区議会が紛糾… 議員発言に対する「警告決議」を強行可決

民主的な手続きを踏みにじる暴挙 区議会史上に汚点を残した日

三月十八日第一回定例会最終日、突如として自民・公明から「警告決議」が提案され、本会議が紛糾。杉並区議会史上稀に見る異常事態となりました。本議案は、予算特別委員会最終日の木梨もりよし議員の発言に対し「個人に対する不適切な言葉」が発せられたとして「嚴重注意し警告する」という内容で、杉並区議会で初めて出される極めて重い決議となります。

超党派で一点共闘 民主主義を守る戦いへ

当区議会では、「決議」を上げる際は、全会一致を原則としており、数の力で「決議」が乱発されないように配慮しています。

しかし、今回はその原則を全く無視する形で、自民・公明と、それを後押しする民主・社民が「数の力」で強行提案したものです。

始めに、私が所属する議会運営委員会で、警告決議を本会議に上程するとの提案が行なわれたため、その場で徹底論戦を行ない「民主的な手続きを踏むべき」「全議員で協議すべき」と主張し、様々な問題を指摘しましたが、質疑途中で民主党議員から「質疑を打ち切る」動議が提案され、強行可決。

本会議上でも同様の手法が取られ、議場は大混乱。審議続行が不可能になる場面もあり、「暫時休憩」と「再開」を繰り返すという異常事態となり、審議は深夜にまで及びました。

党区議団と少数会派は共同し「数の暴力」に対する論陣を張り、徹底的に質疑を行ないました。

しかし、最終的には、自民、公明、民主・社民などの賛成多数で決議は可決されました。今回の「警告決議」は言論弾圧であり、議員の発言を委縮させることにも繋がりがかねません。今後、民主主義を守る戦いが求められます。

党区議団を代表して意見開陳



住民不在の区政運営が目立つ現区政の問題点を指摘しました。

3月17日、党区議団を代表して意見開陳を行ないました(意見開陳全文はホームページに掲載)。

田中区政の4年間を振り返り、自治体の本旨「住民福祉の向上」の責務が果たされていないこと、また、区政への住民参画が軽視されている現状を厳しく指摘しました。区政の転換が求められます。

木梨もりよし議員の発言

木梨議員は田中区長の政治資金パーティーに触れ、「杉並区の最大の問題は、腐りきった田中区長の存在」という旨の発言をしました。

本会議の様子は議会ホームページに掲載されます

育メン日誌

激しい議会が終了

一カ月以上に亘る議会が終わりました。今議会は施設再編整備計画などの住民生活に多大な影響を及ぼす議案の審議が多く、区行政との対決が際立ちました。さらに、最終日の「警告決議」騒動もあり…。家族にも負担をかけましたが、家族サービスもしつつ、次の戦いへ！

「戦いはここから」ですね！



あんさんぶる荻窪屋上にて。住民と行政が共同で作った施設が国に売却される…